

促成アスパラガスの春定植 1年半株養成法

研究のねらい

農業技術センターで開発した促成アスパラガスの「秋定植1年半株養成法」は、従来の2年株養成法より株の休眠が浅く、収量が優れています。しかしこの株養成法は、9月上旬までに収穫が終わるエダマメやスイートコーンなどの夏野菜の後作に限られます。

そこで、コンニャクとの輪作に適する「春定植1年半株養成法」を開発しました。



写真1 春定植1年半株養成法の仮植床

技術の特徴

「春定植1年半株養成法」は、セル成型苗を秋に苗床に仮植し越冬させ、春に本圃に定植を行います。この方法は、従来の「秋定植1年半株養成法」と同等の収量が得られ、コンニャクとの輪作に適した株養成法です(表1)。

1 育苗方法

8月上旬に128穴セルトレイに播種し、9月中旬に平畦の仮植床(畦間130cm、条間45cm、株間15cmの2条植え)に仮植します(写真1)。

2 苗の掘り取り

翌年の3~4月に仮植床から苗を掘り取ります。

3 株養成方法

本圃は高畦に黒マルチを張り栽植密度(畦間140cm、株間50cm)で定植し株養成を行います(写真2)。



写真2 春定植1年半株養成法の株養成圃

今後の取り組み

エダマメやスイートコーンの後作には、「秋定植1年半株養成法」、コンニャク栽培地域には「春定植1年半株養成法」を普及します。

(執筆: 石澤 昌彦)

表1 春定植1年半株養成法および秋定植1年半株養成法の栽培暦

株養成法		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
春定植1年半	1年目									○ (△) は種 仮植 (雨よけ育苗)				
	2年目				△				株養成					
	3年目	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■			マルチ定植									▲ 掘り取り 伏せ込み
秋定植1年半 (従来の夏播き 短期株養成法)	1年目									○ (△) は種 定植 (雨よけ育苗)				□ マルチ除去
	2年目						□							▲ 掘り取り 伏せ込み
	3年目	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■					追肥・培土							